

地域の暮らしを話す会

令和 5 年度実施報告書



社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会



目 次

1. 地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは	p 2
2. 令和5年度実施報告	p 4
3. 地域の暮らしを話す会の効果	p 6

【各地区の意見詳細】

① 日 新 地区	p 9
② 佐野台 地区	p 12
③ 北 中 地区	p 13
④ 三 小 地区	p 14
⑤ 末 広 地区	p 17
⑥ 一 小 地区	p 21
⑦ 長 滝 地区	p 28
⑧ 上之郷 地区	p 30
⑨ 大 土 地区	p 31
⑩ 長 坂 地区	p 35
⑪ 日根野 地区	p 39
⑫ 南 中 地区	p 41
⑬ 中 央 地区	p 43
⑭ 二 小 地区	p 47

地域の暮らしを話す会（住民座談会）とは

1. 地域の暮らしを話す会（住民座談会）ってどんなもの？

→ 地域の困りごとを地域住民で話し合って把握する場です

 「住民座談会」とは、例えば「小地域」ごとに住民の皆さんが1か所に集まって、『地域』の現状や課題（いいところや困りごとなど）を話し合って把握し、地域の将来像を考えあう場のことです。住民座談会で出たことは「地域福祉活動計画」に反映されるので、自分たちが「住み続けたい」地域の将来像を実現する手がかりとなります。

なぜ座談会が必要なの？

3つの理由があります。



2. 住民座談会がなぜ必要なの？

→ 豊かに安心して住み続けられる地域社会づくりのために

 最近、家族や地域住民間のつながりが希薄になってきたと感じることはありますか。日本では今、こうした社会状況が進む中で、虐待・ひきこもり・暴力・自然災害の対応・自殺など、社会問題が多様になり複雑化しています。

私たち住民の多くは、地域で安心して豊かに住み続けられることを願っています。そのためには、だれもが地域から孤立することなく、いろいろな生き方を認め合い、つながりを持ちながら生活できる新しい地域社会をつくっていくことが必要です。

→ 地域のことは、地域できめていくために

 「自分たちの生き方やそれに合った地域づくりは、自分たちで決めていく」といった市民活動の動きが、各地で活発になりました。

新しい地域社会をつくるには、住民の皆さん自らが地域の現状を把握し、「住み続けたい」「住んでみたい」「住みやすい」地域の将来像を考え、それに向かって実践していくことが必要です。

地域のいいところをみんなで
見つけてのばしていこう！



→自分たちの地域の課題を改善しより良い地域をつくっていく

 目的は「地域の福祉を推進していく」 誰もが安心して豊かに生活できる地域づくりを実現していくことにあります。地域のそれぞれの実情にあった福祉を進めていくには、まず身近な地域において住民の皆さん自らが望む地域をつくることが大切です。

引き続き地域の課題を確認し、地域の将来像を語り合う、その時々の時代にあった地域つくりのために「地域の暮らしを話す会」で住民参加の機会を中心として、住民の皆さん自ら主体的に参加するようすすめていきましょう。



■小地域って？

小地域とは「住民の顔がみえる地域のこと。その単位は、小学校区や町会・自治会です。地域の実情によって定めましょう。住民の皆さん自ら地域の課題を見つけ、解決していくことが可能な単位です。

★地域の暮らしを話す会は、それを行うことが目的ではありません。話す会を活かして、自分たちが住み良い地域、安心して暮らせる地域をつくっていくことが目的です。

参考文献：山口県社会福祉協議会、平成18年3月
「地域で住民のみなさんが住民座談会を開くための手引き」

令和5年度実施報告

1) 開催状況

平成27年に完成した「第2次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画（いずみさのみんなの絆プラン）」において、「計画の普及をはじめ、地域から出される新たな課題を本計画見直し時に反映」するための場として、地域の暮らしを話す会が位置づけられましたことから、行政と社協、CSW（現在は地域型包括支援センター）が協働で継続的に取り組んで行くことになりました。また令和3年度から「第3次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」が施行され、令和5年度には中間見直しが行われました。

地域の困りごとを地域住民で話し合い、誰もが安心して豊かに生活できる地域づくりにつなげるために、書面開催も含めて全地区で開催されました。

《令和5年度「地域の暮らしを話す会」 開催日時・場所・参加人数一覧》

地区	日 時	場所	人数
日新	12月11日（月） 18時30分～	ホテルニュータカ	35人
佐野台	10月 1日（日） 10時00分～	南泉ヶ丘町会館	4人
北中	11月 28日（火） 19時00分～	鶴原町会館	21人
三小	12月 2日（土） 10時00分～	春日町会館	21人
末広	12月 14日（木） 19時00分～	東羽倉崎南町集会所	19人
一小	8月 25日（金） 19時00分～	松原団地住宅集会所	36人
長瀧	6月 21日（水） 15時00分～	長瀧第一町内会館	19人
上之郷	3月 22日（月） 19時00分～	上之郷コミュニティセンター	13人
大土	書面開催		16人
長坂	書面開催		50人
日根野	1月 20日（土） 18時30分～	日根野公民館	20人
南中	3月 5日（火） 19時30分～	南部市民交流センター	25人
中央	10月 7日（土） 13時30分～	松風台集会所	17人
二小	10月 27日（金） 19時00分～	高松総合会館	15人

のべ参加者数 311人（うち書面参加 66人）

2) 当日の内容

これまでの活動を振り返りながら、これから活動について考えることに重点を置いたテーマで検討する地区が多くありました。

《令和5年度の話し合いテーマの一覧》

地区	テーマ
日 新	わたしのまちのいいところ♪
佐野台	佐野台地区の自主防災活動について
北 中	北中地区福祉委員会活動（誕生日月訪問）の今後について
三 小	コミュニティカフェ情報交換会
末 広	新たな活動者や協力が集まりやすい雰囲気づくり
一 小	誰もが自分らしく生活できる町づくりをめざして
長 滝	サロン「かけはし」の振り返りと意見交換
上之郷	若手を増やす方法を考えよう
大 土	わたしのまちのいいところ♪
長 坂	他の地域に質問してみよう
日根野	今後の地縁活動について考える
南 中	各町の防災の取り組みについて
中 央	わたしのまちのいいところ♪
二 小	地元の魅力を振り返ろう！

日頃から地域の福祉活動に取り組んでいる方々が、地域にどのような課題があると感じ、そのためにどのように取り組めばよいと考えているかを明らかにすることは、今後の地域福祉の充実を図っていくうえで非常に大切な情報になります。

似たようなテーマを選んでいてもその地域のもつ歴史性や地理的条件によって出席者の意見は異なります。

地域の暮らしを話す会の効果

地域の暮らしを話す会をとおして、これまでの活動を振り返りながら、新たな活動者や協力が集まりやすい雰囲気づくりについて話すきっかけになった事例を紹介します！

末広地区福祉委員会と看護専門学校との協働実践

末広地区内の地域行事等に泉佐野市泉南医師会看護専門学校の学生が授業の一環として、ボランティア活動に参加し、地域の方と協働している取り組みです。

きっかけ

活動が生まれたきっかけは「地域の活動は担い手の高齢化と固定化の課題に直面している。若い人の考え方やアイディアを取り込んでいきたい。」という、地域住民の活動に対する思いからでした。

一方、看護学生は看護を勉強するうえで、高齢者が地域でどのように暮らしているかを知る機会がなく、看護学生としての学びに繋がるという学校側の考え方もあり、協働で活動を行うかたちになりました。

具体的な活動内容

サロン活動の時に、地域の方のお話相手や血圧測定を実施するなど、看護学生自身が考えて、出来る取り組みを実施しています。

また、世代間交流を目的とした地域イベントにも参加してもらい、看護の視点を活かして、地域の方との関わりを持ってもらっています。



血圧の数値も良いですよ～



重かったら、一緒にお荷物運びますよ

健康を予防の視点で考えるようになりました

孫のような年代の方とお話できて楽しいな～

みんなの声

【地域の声】

- ・買い物に来ているお客さんが嬉しそうに学生と話していた。
 - ・買い物の際に学生が血圧を測り、いつもより買い物客が多く賑わっていた。
 - ・会館の掃除などを率先して手伝ってくださり助かった。
 - ・地域の事を知ってもらうために、地域の見守り対象の方の状況をお話しようと思った。
 - ・チラシなどを作ってくれて嬉しかった。



【学生の声】

- ・どのような看護を提供すれば地域の方たちが良くなるのかを考えた。
 - ・働く地域を知りたいという思いが芽生えた。
 - ・看護を通して地域の人たちと交流できると感じた。
 - ・健康に生きていくためには人との関わりが大切で、助け合いながら生活している事が健康に関わっており、人に感謝し、幸せを感じながら生きていく事が大切だと感じた。
 - ・患者さんの退院後の生活をイメージしやすくなった。

【担当教員の声】

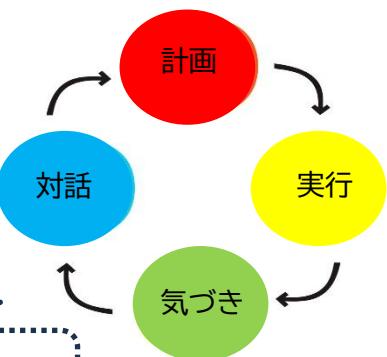
回を重ねるごとに学生の行動が変化する姿に感動しました。地域の皆さまとの出会いの中で、自分自身ができる看護を学生自身、探求していましたと思います。



話す会へのつながり

看護学生が、活動を通しての学びや気づきを地域の方にも発表しました。

協働での活動を行うことで、「新たな活動者を増やすにはどうしたら良いか」「協力が集まりやすい雰囲気をどのようにつくっていったら良いのか」という思いが末広地区で生まれ『新たな活動者や協力が集まりやすい雰囲気づくり』をテーマに、地域のくらしを話す会を実施し、現状から今後の展開について住民同士で話す機会にもなりました。



活動後に、対話の中で振り返り、今後に向けて改善策等を話し合い、次の活動に繋げていくというサイクルが大切です

これまでの「地域の暮らしを話す会 実施報告書」に掲載した事例

(過去 5 年間左抜粋)

平成 30 年度 実施報告書	土丸支部福祉委員会の花見大会の取り組み 平成 30 年台風 21 号被害の経験を今後に活かすために
令和元年度 実施報告書	「担い手」に関する意見、たくさん出ました！ 長滝地区福祉委員会の年間を通した話す会（事業調整会議）の実施
令和 2 年度 実施報告書	地域での新たな話し合いの場づくり
令和 3 年度 実施報告書	コロナ禍における地域活動について～協力員・子育てサロン参加者の声を力 タチに～
令和 4 年度 実施報告書	増えています！誰もが集えるコミュニティカフェ

事例の詳細は、それぞれの年度の報告書をご覧ください

(泉佐野市社協ホームページにPDF版を掲載しています) <https://izumisanoshakyo.or.jp/>

各地区でた意見の詳細

各地区における地域の暮らしを話す会でた意見
(ふせんに書かれた意見など) を、すべて書き出しました。



日新地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和5年12月11日（月） 18時30分～19時30分

場 所：ホテルニューウタカ

参加人数：35名（中庄名8名、上瓦屋名11名、湊9名、泉陽ヶ丘7名）

テ－マ：「わたしのまちのいいところ♪」

中庄支部

わたしのまちのここがすきっ☆

- ・各種団体の活動が他町に比べてさかんである
- ・人口増。若い人が多い
- ・住みやすい。交流がさかん
- ・犯罪が少ない



なんですか？

- ・月に何回か集まれるのが良い（カラオケなど）
- ・だんじり祭り、盆踊り
- ・ノルディックポールでの歩行がさかん
- ・寄せ植え会、花見会



今後やってみたいことや興味のあること

- ・サロン、カフェの検討
- ・町民一斉の行事を開催したい
- ・花筏の利用

湊支部

わたしのまちのここがすきっ☆

- ・近所同士のつながりがある
- ・一人暮らしの人に声かけしている
- ・協調性がある
- ・健康意識が高い
- ・女性が元気で活動的
- ・美人が多い！



なんですか？

- ・ストレスがたまらない生活をしている（おしゃべり etc）
- ・イベント etc にお誘いしている
- ・みんな仲良しである
- ・気が若いので美人が多い



今後やってみたいことや興味のあること

- ・若い人や子どもを対象にした催し（イベント）
- ・福祉委員会に人を入れたい←PRをする
- ・色々な教室を開きたい（例：ケーキ作り、マージャン、手芸、絵手紙、寄せ植え、習字）
- ・モルック競技

泉陽ヶ丘支部

わたしのまちのここがすきっ☆

- ・毎週金曜日にさのトレ体操（市のモデル町会・1時間）10～14人
- ・月2回サロン開催（ボッチャ、カラオケ、ボウリング、わなげ、手芸）
【自治会館】
- ・元気塾・福祉委員会主催（食事又は茶話会）



なんですか？

- ・毎週金曜日を楽しみにしている



今後やってみたいことや興味のあること

- ・お口の体操（あいうべ）
- ・笑いのヨガ
- ・体操前（さのトレ体操3年目）に手拍子。参加者10～14人

上瓦屋支部

わたしのまちのここがすきっ☆

- ・みんな仲が良い
- ・地元で行われている行事等に進んで参加して、その輪の中に入って交流を続けていく
- ・議論をしてしっかりまとまる
- ・先祖を大切にする若者が多い

- ・自分の事を知っていてくれる方が多く、道を歩いているとよく声をかけてもらえる事がいいところだと思います
- ・声をかけやすい。色々な話ができる
- ・まとまりがよいと思う。人間の関係性が良い
- ・だんじり祭りで地域がつながっていくこと
- ・気楽に話が出来るところ
- ・墓掃除の山出と佐野川のシステムが違いすぎる



なんですか？

- ・生まれたところなので好き！
- ・アットホーム
- ・町会が率先して行事を進めてくれる
- ・墓地清掃を年2回全体で実施している。隣組が月1回しているから綺麗です
- ・だんじりを上手く運営しようとの気持ちがある
- ・行事に参加することで色々な人と交流を持ち、人見知りでなくなり声かけもしやすくなる
- ・府議会1人、市議会2人がいる
- ・良いことだと思う。多くの人たちと話すことも元気になることだと思います
- ・子ども会から青年団から地域がつながっていっている（祭りや盆踊り等）
- ・気軽に参加できる雰囲気づくりがほしい



今後やってみたいことや興味のあること

- ・コロナも収束したのでみんなが集まる催しを考えたい
- ・今後もサロン（ラウンジ）を続けていくとともに内容についても、もっと魅力のある内容に出来たらと思います
- ・中学校に関心を向ける
- ・会館使用に関してお年寄り以外にも催事利用促進
- ・元成寺の役をしています。寺へお参り下さい。年を取るといいことですよ
- ・ラウンジでわなげをしたり将棋をしたり、楽しい内容を取り入れているが楽しい企画をこれからも取り入れていけたら

佐野台地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和5年10月1日（日） 10時00分～11時00分

場 所：南泉ヶ丘町会館

参加人数：4名（佐野台1名、西佐野台1名、東佐野台1名、南泉ヶ丘1名）

テ－マ：「佐野台地区的自主防災活動について」

佐野台支部、西佐野台支部、東佐野台支部、南泉ヶ丘支部

災害時の課題

- ・避難所である佐野台小学校体育館からトイレまでの距離が遠い
- ・防災トイレを購入したいがどこで管理するかの問題がある
- ・4町としてどう動くかを考える必要がある
- ・書面上では避難所と市の担当職員は決まっているが発災時はスムーズに機能するとは限らない
- ・水利組合はなかなか動いてくれない
- ・佐野台と熊取にまたいでいる池の対応がややこしい
- ・町内会と自主防災組織との協力が必要
- ・町内会の引継ぎがうまくできていない
- ・市や社協が動けるのは発災数日後、、、
- ・町間での連携が必要
- ・空き家を有効活用できないか
- ・発災時の連絡網をどうするか
- ・会館のネット環境を整える必要がある（携帯がつながらない場合がある）
- ・発電機の準備が必要
- ・地域でどこまでの対応ができるのか
- ・避難所として佐野台小学校を開く際に誰が指揮をとるのか（カギは東佐野台が持っている）
- ・障がい者等の対応をどうするか
- ・避難所運営をどうするか
- ・食料や物資の支給は小学校単位でしか行われない
- ・市、社協、地域がどう連携するかを考える必要がある
- ・一人ひとりの防災意識が低い
- ・助けが来るまでに地域で何ができるのか把握しておく必要がある



優先的に行うこと

- ①災害時の連絡網を整備する
- ②支部体位でどのような準備が必要なのか危機管理課に確認する

北中地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和5年11月28日（火） 19時00分～20時00分

場 所：鶴原町会館

参加人数：21名（鶴原町8名、下瓦屋町9名、中央住宅名4）

テ－マ：「北中地区福祉委員会活動（誕生日訪問）の今後について」

鶴原支部、下瓦屋支部、鶴原中央住宅支部

経緯

ネット対象者への誕生日訪問の際、世代間交流として北中小学校の子どもたちにも協力してもらっている。

活動終了後、協力のお礼を渡しているが、現金、お茶、ジュース、お菓子など3町で統一されていない。

ジュース代として現金を渡していた時期もあるが、おこづかい目当てで参加する子どももいたので今後のお礼の渡し方について検討することになる。



推進委員からの意見

- ・協力してくれているのだから引き続きお菓子、ジュースを渡してもよいのでは？
- ・今は100円ではジュースも買えない
- ・お礼として現金を渡すのはやめた方がよいのでは？
- ・ボランティアとして参加しているのでお礼をしてもらわなくてもよい（校長先生より）
- ・お礼目当てで参加する子がいるのでいっそのことお礼をなくしても良いのでは？
- ・お礼をなくす場合、時期はいつからにするのか？
- ・年度途中でお礼をなくすと、お礼を貰っている子と貰わない子がでてくるので不公平



話し合いの結果

基本的なボランティア活動の属性に則り、今後はお礼をなくし無償とすることに決定する。

推進委員、校長先生ともに子どもたちにはお礼を貰えるから活動に参加するのではなく、自分たちの住む地域への興味関心を持ってもらうための活動として継続していくことに決定する。

三小地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和5年12月2日（土） 10時00分～11時00分

場 所：春日町会館

参加人数：21名（新町7名、春日町6名、旭町8名）

テ－マ：コミュニティカフェ情報交換会

春日町支部

カフェ名：おちゃのまカフェ 開催頻度・開催時間

毎月第三木曜日 午後 1:30～3:00

対象者

町内在住者

メニュー・値段

コーヒー・お茶等、お菓子

参加費：無料

PR ポイント・工夫点

年齢に関係なく参加OK。

季節に応じたお菓子等を考える。

広く声かけをする。

参加者の声や地域の効果

時間があっという間に過ぎた。

今後、取り組みたいこと

回覧板に広告チラシを今後入れる。

年齢層を増やす。

参加者の固定化を防ぎたい。

男性から男性の声かけて増やす。

移動販売車の出張が可能か確認。

新町支部

カフェ名：しんまち茶論 開催頻度・開催時間
月2回（第2・4水）午前10:00～11:30
対象者
新町在住の方、高齢者中心
メニュー・値段
お茶・コーヒー（ウェイトレス）
夏アイスクリーム等 無料
PRポイント・工夫点
いこいの場。
情報交換の場にもなっている。
一人暮らしの不安解消。
情報交換の場。
近況報告の場で笑いがあふれている。
バックミュージックの工夫（＊）
季節に応じた催し物。夏フラダンス。
8月戦争体験者の話。
みんな参加型の工夫＝手足・頭使う。
手作り。フラダンス。オーケストラ。
手遊び。みんなで歌を歌ったりする。
5月 柏餅。夏 アイスクリーム。
参加者の声や地域の効果
すごく喜んでもらっています。
今度の出し物は何？
今日は何をしてくれるのか期待してくれている。
今後、取り組みたいこと
様子を見つつ回数を考える。
本格的なカフェ（名古屋のよう）
認知症の勉強会（お互いの為）
参加者に自慢話をしてもらう。
不思議な事を話してもらう。
男性の参加。
男性の参加のアイディア。

旭町支部

カフェ名：旭町カフェ 開催頻度・開催時間
毎月第3木曜 午後1:30～午後3:30
対象者
どなたでも
メニュー・値段
コロナ以後0円 豆から挽いたコーヒー・ココア・紅茶・緑茶
夏 冷たいコーヒー・ジュース 冬 しょうが湯・ゆず茶
PRポイント・工夫点
寒くなってきたので「家が…」という声も聞かれる。 みんなでいろいろ集まって話して笑い声が楽しく過ごせる。
体力作りのポイントを教えてもらうなどの1つアドバイスをもらって次月に続ける。 “ホッとひと息つける場所作り”がポイント（目標） 美味しいコーヒーが飲めます。
参加者の声や地域の効果
高齢者の方は居場所と思って頂けているようで「できれば毎週やってほしい」との声もある。 カフェに来るのが楽しみで待っている人が多いです。
今後、取り組みたいこと
今は無用ですが再度100円を受け取ってほしい。 コーヒー飲食後に男の人が暇そうなので折り紙とかボードゲームとかの催し物を考える。
若い方も来やすい環境が出来ると良い。 参加された方々の為にイベントを開き、遠くまで行けないけれどカフェに行って楽しむという場所作りになりたい。
少しずつ元に戻って（コロナ前に）やっていきたい。

末広地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和5年12月14日（木） 19時00分～20時00分

場 所：東羽倉崎南町集会所

参加人数：19名（新安松町3名、羽倉崎上町4名、東羽倉崎南町4名、長滝第一住宅0名、東羽倉崎町3名、東羽倉崎自治会5名）

テー マ：新たな活動者や協力が集まりやすい雰囲気づくり

新安松支部

① 地域活動について現状や課題を踏まえて、 どういった支援やサポートがあればいいですか？

近くに集まる場所がほしい。

協力員の高齢化。80歳以上の人気が増えてきた。

若い協力員の人が出来た。（見守り協力員）

担い手。

安まちアプリ活用。

若い担い手。

空き家の改修費。

空き家の利用でコミュニケーション。

60～80代以下の人はなかなか難しい。（仕事をしている）

対策：普段から出来そうな人（ボランティアの心、福祉の心を持っている。）と思われる人をいつも心がけて考えている。

利用しやすいバス。

② 周囲に協力して貰えそうな方(個人/団体)はいますか？

協力員。

お買い物送迎（コープ）

登下校の見守り。浜野・植田・協力員（平成16年9月から毎朝登校児童を見守り、下校時は火曜・金曜。）

コープのお買い物便への高齢者支援（平成26年11月から）

③ ワーク①②の協力があれば、

地域活動にどういった効果や展開がありそうですか？

安全な町。

スーパーに行ける。

羽倉崎上町支部

① 地域活動について現状や課題を踏まえて、
どういった支援やサポートがあればいいですか？

高齢者と子どもの交流。

集会所利用率。

独居老人問題。

コミュニティバスの無償利用を考える。

体大生の協力。

空き家（家主の民泊利用）

空き家（放置）

② 周囲に協力して貢えそうな方(個人/団体)はいますか？

地区子ども会役員の参加。

薬局とのコラボ行事。

介護事業所とのコラボで高齢者と子どもの交流会。

コミュニティバスのルート再考。

介護タクシー利用。

行政の支援。

③ ワーク①②の協力があれば、

地域活動にどういった効果や展開がありそうですか？

高齢者の買い物支援。

高齢者と子どもの交流。

活動の実行。

町内会・総会の早期実行。

老人ホームの利用。

デイサービスセンターの遊具利用。

東羽倉崎南町支部

① 地域活動について現状や課題を踏まえて、
どういった支援やサポートがあればいいですか？

無料の催しは参加者が増える。

現状：自治会役員頼み。

課題：高齢化。

新規の協力者がいない。

看護師の健康チェック。

サポート：パソコンを使える人（若者）

② 周囲に協力して貢えそうな方(個人/団体)はいますか？

腹話術ボランティア。

花筏、コープ。

ふいふい。
キッチンカー3店商組合。
小・中学生または看護学生。
フードバンク。
③ ワーク①②の協力があれば、 地域活動にどういった効果や展開がありそうですか？
まちの活性化。
新しい発想が生まれる。
あいさつをよくするようになった。
雑談・笑いが増えた。

東羽倉崎町支部

① 地域活動について現状や課題を踏まえて、 どういった支援やサポートがあればいいですか？
住民相互のコミュニケーション・近所づきあい。
町会館の活用＝組長会・福祉委員会
主体性のある行事開催（環境美化・防災訓練・見守り活動等）
サークル活動。
お花・書道・歌。
携帯の使い方。
コープのお買い物便が広がれば良い。
コープのちらし配布。
役所の出前。
道路が出来るので安全面。
100軒の入居有。集会所必要。
道路公園課・都市計画課・水利組合。
② 周囲に協力して貰えそうな方(個人/団体)はいますか？
組長会・安全パトロール（10名）
各組＝（住民）
ざっくばらんに意見が募れる。
③ ワーク①②の協力があれば、 地域活動にどういった効果や展開がありそうですか？
—

東羽倉崎自治会支部

① 地域活動について現状や課題を踏まえて、 どういった支援やサポートがあればいいですか？

集会所以外として広い場所の確保が必要。
近い場所以外の遠い所ではなかなか足を運ぶのは困難。
カフェに関しては花筏さんに協力を得ているので今のところは現状維持で良いか?
お買い物バスの時、若い方が手伝ってくれると嬉しい。
ネット対象者の方に集まって話してもらうようにしたい。
住民の方々に色々な行事等お知らせする。広報的にもっと考えなくてはならない。
地域住民にもっと関心を持ってもらう為にどうすればいいか?
住民同士の縦のつながりがなかなかありません。
住民の中に色々な事を教えてもらえる人を探してみる事も必要。
② 周囲に協力して貰えそうな方(個人/団体)はいますか?
高齢者の方が福祉委員会にどういう事をしてほしいか? (出来るか出来ないかは別として聞き取るのはどうか)
時間がありそうな方に声かけしているが、なかなか良い返事がもらえない。
現実的に考えてもあと何年活動に参加してもらえるのかもわからない(協力員)
現在、看護学校生の方から協力いただいている。私たちも孫と同じくらいの年齢でありがたいです。
自治会全体で子どもからお年寄りまで参加してもらえる催しをするのはどうか。
現在、泉佐野泉南医師会看護専門学校とは学生ボランティアの受け入れとCOOP 買い物便・おしゃべりカフェで販売の援助や集会所の片付け(机・椅子) 高齢者との話し相手、血圧測定や健康相談の協力をもらっている。
③ ワーク①②の協力があれば、 地域活動にどういった効果や展開がありそうですか?
近所の方々とあいさつをし、その一言で毎日明るい気持ちになります。その一言が大事かな?
集まりやすい雰囲気を感じてもらうにはどういう風に表せば良いのか?
住民の集う機会が増えれば自然と話をする事も多くなり、仲良くなれるのではないか。
地域の方々や自治会の役員さんにも目を向けてほしいと思います。お互いに協力して豊かな地域になればいいなあと思います。
① ②の支援があれば福祉に対しても理解をしてもらえるのではないかな?
困り事を知る事が出来る。
助け合う事が出来る。

一小地区地域の暮らしを話す会

日 時：令和5年8月25日（金） 19時00分～20時00分

場 所：松原団地住宅集会所

参加人数：36名（本町6名・元町4名・松原住宅4名・羽倉崎町5名・

野出町6名・西本町5名・笠松町3名・松原町3名）

テー マ：『誰もが自分らしく生活できる町づくりをめざして』

1. ○○が自分らしく生活できる町ってどんな町？

本町支部

【高齢者】

- ・朝のあいさつができる。・買い物がしやすい。
- ・立ち話できる人が近くに多い。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・子どもの数が少ない。

元町支部

【高齢者】

- ・一人住まいの人が気楽に相談・話ができる人がいる。
- ・となり近所がもっと気軽に話し合える町。昔は気軽に家の中まで入って話し合いができました。・気軽に話せる友がいる。
- ・町内的人が自分の事を知ってくれている。・悩みが話せる人がいる。
- ・健康診断を町ごとに出張してくれる。・世代間交流がある。
- ・安全な生活ができる環境。道路、自宅、店が近くにある等。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・近所の子どもと顔見知りになってあいさつ・声掛けが出来る。
- ・外で遊ぶ子どもの姿が見えないのが残念。・コミュニティーの場がある。

【単身者】

- ・単身者も市条例で町内会加入させる。・町会って？入る魅力は？会費払うだけ？

野出町支部

【高齢者】

- ・簡単な仕事場。・となり近所の顔がわかる。・いこいの場。
- ・みんなが集まれる公園が近くにある。・BBQ 介助付き年2～3回。

- ・老人食堂。　・コミュニティーを考えるコミュニティー場。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・子どもたちが集える場所が欲しい。　・子ども食堂。

西本町支部

【高齢者】

- ・会館が利用できるとすればどんな事をしたいか募集して楽しむ方向に考える。　・買い物が便利にできる。　・気軽に交流できる場所。
- ・気分転換できる交流。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・登下校時に会った時、笑顔であいさつができるように。
- ・安心して遊べる遊具や公園。

笠松町支部

【高齢者】

- ・家の中にこもらない。　・多くの友人を作る。
- ・楽しいレクリエーションが多い。　・エクササイズメニューが充実している。
- ・季節の催しがある。　・定期的な旅行がある。　・自由なカフェがある。
- ・夜でもすべての道が明るく、安心して通行できる。
- ・程よくプライドを維持しながら、お金を稼ぐ事ができる。
- ・趣味の〇〇が入手しやすい。　・一人になれる空間が〇〇にある。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・思いっきりボール遊びができる場所。　・安全にたまれる場所。
- ・スケボーや BMX の会場がある。　・公園の乗り物が充実している。
- ・子ども食堂が開催され、大人も参加できる。
- ・日本古来の遊びが教えてもらえる。
- ・定期的なフェスがあり売店・飲食店が充実している。

【障がい者】

- ・差別されずにみんなと一緒に過ごすこと。　・バリアフリーの町づくり。
- ・防災設備が充実し、安心して避難できる。
- ・泉佐野の色々なイベント・フェス・スポーツ・祭りに積極参加。
- ・手話のサークルが多く、活動が活発。　・バリアフリーがあって自由に外出ができる様。　・仲間外れにしないでみんなが一緒に生活できる様。
- ・手話の自動翻訳機がある。　・障害に応じた速度で情報を見聞きできる。

- ・一人一人が思いやりのある町
- ・車いすテニス・ラグビー・バスケットができる。

松原町支部

【高齢者】

- ・交通がよい。バス、電車。　・集会所が近い方がいい。
- ・近所の方とお付き合いのできる町。　・買い物がしやすい。
- ・地域タクシーがほしい。　・見守りが多い町。
- ・専門医がほしい。　・防犯カメラが多い。　・見守り。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・安全な公園がほしい。　・小学校に子ども食堂を作つてほしい。

松原住宅支部

【高齢者】

- ・バリアフリーの整備できている。　・エレベーターが整備されている。
- ・一人で買い物に行ける。　・交通に支障がない町。
- ・近くにスーパーがある。　・介護タクシー。
- ・引きこもりがないように声かけが必要。　・近所付き合い。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・防犯カメラの設置。　・働く所が近くにある。　・安心ができる遊び場所。
- ・見守りをしてくれる人達がいる。　・交通の便が良い所。
- ・学校が近くにある。　・子どもを預かってもらえる所がある。
- ・コンビニが近くにある。　・家族ぐるみの付き合い。

羽倉崎町支部

【高齢者】

- ・近所の方とのコミュニケーションの場が多い町。　・家以外での居場所。
- ・会館でゲーム等で頭を使い笑って過ごせる。
- ・月に一度か二度、会館で食事できれば。
- ・老人食堂を作る。
- ・働くお母さんのためのヨガをやる。
- ・子育て世代は余裕がなく、町内でのコミュニケーションが少ない。
- ・町内会の行事への参加。
- ・色々な世代の方とコミュニケーションが取れる町。
- ・顔の知らない子どもがいない町。みんな知り合い。

【その他】

- ・粗大ゴミを町会で回収してほしい。・花畠するんです。

2. あなたの町に住む〇〇の現状は・・・

本町支部

【高齢者】

- ・道路がせまいので車が危ない。・顔見知りの方が多い。
- ・道が明るい、電灯がついている。・夜、静か。・新川邸で買い物できる。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・友達がいない。・親の顔がわからない。・遊び場所が少ない。

元町支部

【高齢者】

- ・長生会等コミュニティーに参加しない人がいる。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・共働き家庭が多く、子ども達と交えての話す機会がない。
- ・子どもはゲームや親も携帯等交流が少ない。・子ども会がない。
- ・両親と話す時間やきっかけが少ない。
- ・クリスマスプレゼントしかしていない。

【単身者】

- ・町内会からも訪問していないワンルームマンションへ。

野出町支部

【高齢者】

- ・一人暮らしの方が多い。・ほとんどが高齢者です。
- ・避難場がない。一小がダメだから。・元気塾に全員参加ができない。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・子どもが少ない。・子ども会に入ってくれない。
- ・単身者の建物が増えている。

西本町支部

【高齢者】

- ・町会に加入している人が少なくなっている。・コロナ後参加しなくなった。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・子ども会がなくなり交流がなくなった。
- ・となり近所の付き合いがなくなった。

笠松町支部

【高齢者】

- ・交番がない。・必要な物の大半がない・家から出られない高齢者が多い。
- ・高齢者のニーズが十分に分析できていない。
- ・町内にデイサービスが少ない。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・買い物難民にならない。・気軽に買い物に行ける。
- ・子育てを通じて友達ができ、話し合う事ができる様。
- ・子ども会の親の負担が大きい。・クラブ活動と塾で忙しい。
- ・子ども食堂がない。不要？・スポーツができる公園がない。

【障がい者】

- ・手話のできる者がいない。・障がい者の実態がない。
- ・障がい者の実態がわからない。

松原町支部

【高齢者】

- ・集会所が地域の真ん中にはほしい。・消極的な高齢者の参加を増やしたい。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・子ども達の様子がわからない。・子どもを交えた活動を増やしたい。
- ・子育ての方との交流ができない。・若い世代とのかかわり方がわからない。
- ・子どもさんと町会の方と交流のできる社会見学できれば。

松原住宅支部

【高齢者】

- ・交通量が多い。・週1回カラオケ。・バリアフリーになっている。
- ・エレベーターがある。・ふれあい喫茶、週2回。・高齢者が多い。

- ・毎週日曜日、体操。
- ・病院が遠い。
- ・スーパーが遠い。
- ・集会所が近い。

【子ども（子育て世代）・若者】

- ・月曜日に見守り隊。
- ・小学校まで40分かかる。
- ・若年層の役員のなりてが無い。
- ・コンビニが近い。

羽倉崎町支部

【高齢者】

- ・町会・長生会・福祉委員会の協力で楽しいイベントが多く楽しい。
- ・老人同士の交流が多い。
- ・住みよい便利。
- ・通学バスの見守り。
- ・坂も少なく、お店も多くて住みやすい。便利。
- ・夏祭り・ヨガ・カラオケなどイベントが多い子育てサロンを実施している。

【ゴミ収集】

- ・ゴミ収集のルート確認。

3. 話す会をふりかえって（感想ほか）

- ・高齢者にも色々な方がおられる。笠松町は高齢者が多く、対応に苦慮している。
- ・自立している人が参加できるクラブ活動が多い。
- ・地域の暮らしを話す会に参加させて頂いて、あらためて今後の地域社会の取り組みを根を深くして考えていく必要があると思いました。
- ・高齢者や子ども達が安全でみんなが集まれる場所があればいいなあと思います。
- ・高齢者と子どもを交えた世代間交流がしたい。
- ・地域タクシーがほしい。
- ・みんなが活発に意見を交わしていてよかったです。
- ・個々の意識を向上してもらい、自ら参加する意欲を持ってもらいたい。
- ・みんな集まつた時にこんな事をしたいとか意見を交わす。決まった事に對して参加・不参加を決めるのではなく、こんな事だったら参加したいという意欲を持ってほしい。
- ・現在実施している「カフェ」や「いきいきサロン」を充実させて参加してもらえるように広報など工夫する。この交流から広がればと思う。
- ・町会の活動を住民の方も意欲的に参加して意見を出して地域で盛り上がってほしい。
- ・高齢者も子どもも交流ができる（世代間交流）機会を作りたい。
- ・町会に入会するメリットを理解してもらえていない。
- ・町会の活動を知らない人が多い。

- ・町会運営サイドも生活実態がつかめていない世帯がある。
- ・コミュニケーション。となり近所。世代間。
- ・新しい道ができますが、今まで静かでしたが騒がしくなる？
にぎやかになる？交通量が増えてどうなるか期待大。
- ・子どもが少ない。高齢者の数は増えている。
- ・新川邸の行事に参加。

長滝地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和5年6月21日（水） 15時00分～17時20分

場 所：長滝第一町内会館

参加人数：19名

テ－マ：サロン「かけはし」のふり返りと意見交換

長滝協力員一同（5支部合同）

【頻度と時間について】

開催回数について	
月2回はちょうど良い	多いので月1回が良い

開催時間について	
1時間半はちょうど良い	長いので1時間が良い

開催時間帯について		
現在のままで良い	午前中が良い	14:00～15:00が良い

【内容について】

おやつの量について		
ちょうど良い	多い	少ない

おやつの内容について	
季節を感じられるもの	
和菓子など	
賞味期限の長いお菓子	
〇〇屋のおまんじゅう、〇〇のクッキーなど自分では買えない所のお菓子も良いのでは？	
メインのもの1つでも良いのでは。おやつよりもサロンの中身に気を使いたい	
今のままでよい	
おやつはいらない。誰も食べていません。体に良くないです。買い物が大変。	

今後のサロンで取り組みたい内容について	
カラオケ	
手作り品（手芸）	
茶話会	
食事会	

お花見などの遠足
歌や踊りの鑑賞
世代間交流
懐かしい映画・動画の鑑賞
対象者さんの戦争体験や知識などを伝えて頂く
体操など身体を動かすこと

サロンで楽しみにしていること
他の参加者とのおしゃべり
スタッフとの交流
歌や踊りの鑑賞
飲食
ゲーム

その他の意見・感想
充実した「かけはし」だと思います
おしゃべりするのが楽しみ
いつもありがとうございます
イベントのお弁当について、地元の企業に頼むのか、違うところに頼むのか悩む
地元のイベントなので地元企業にお願いするのが良い
地元の物はいつでも買える。参加者が喜んでくれているのは遠くのお弁当

上之郷地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和6年3月22日（月） 19時00分～20時30分

場 所：上之郷コミュニティセンター

参加人数：13名（母山2名、机場2名、女形1名、上村4名、中村3名、下村1名）

テークマ：「若手を増やす方法を考えよう」

全支部

担い手確保の現状と課題

- ・町内会の会員が減っている（約85／150世帯）
- ・高齢化が進んでいる
- ・若い人が地域から出て行ってしまう（仕事やプライベートなど）
- ・地域の環境（仕事が少ない、高齢者は買い物や通院に不便）
- ・時代が変わり子どもが家を継がなくなった
- ・若い人は妻も働いている（専業主婦は少ない）



担い手確保に向けた解決策や工夫

- ・上之郷の良いところをアピールする（自然が多くて良いところ）
- ・子育てサロンは他地区からの参加者が多い
- ・古民家カフェなど新しい店ができている（観光に良いのでは？）
- ・子ども食堂を開催してみたい
- ・時代の変化に合わせた活動、工夫が必要
- ・産後ケア事業の必要性が増加している
- ・子育てサロンや子ども食堂を通して若い世代と接点を増やす
- ・災害訓練を実施する

大土地区 地域の暮らしを話す会

日 時：アンケート形式

回答者：16名（土丸16名、大木0名）

テー マ：「わたしのまちのいいところ♪」

土丸支部

わたしのまちのここがすきっ☆

自然豊かな中にも日常生活に必要な買い物にも近く、大阪の都心にも約40分で行く事が出来るという利便性がある
空港に近いのが利点だと思う
高齢化が進む中での空き家対策を考えていく必要がある
親しみやすい、空気が澄んでいて気持ちいい
住民同士の顔が見える（どこの誰かがよく分かる）
安全・安心して暮らせる
自然環境が沢山残る町
お年寄りが元気である
町民の仲がいいところ
自然が豊かで静かである
お年寄りが地域の子ども達をかわいがっている
静かで自然を感じれる
小川、野鳥のさえずりなど四季を楽しめる
近所付き合いもよく、住民同士のトラブルもほとんどない
お年寄りが元気ですが、いつもおなじみのメンバーでもっと他の人も来たらと残念です
自然が豊か
空気がきれい、星空がきれい
昔から地域で住んでいる人が多く、みんな顔見知り、気さくに声かけができる
子育てるには良い環境（地域の中で人のつながりがある為、子どもを大切にしてくれる）
町内をゆっくり散歩ができる
自然豊かでのんびりと過ごせる
どれとでも仲良くできる地域
誰もが参加できる
田舎でとても静か、不便なようでそうでもないところ
今後介護が必要になっても安心
福祉委員会主催による毎月1回の食事会（ドマール食堂）があり、町内会のみなさんの元気なお顔を見し、安否確認とともに、情報交換など町内の活発な活動として高く評価されています

町民同士の繋がりが強い
意外に生活が便利なところ（車に乗れる事が前提ですが）
近くにコンビニ、イオン、病院がある
犬の散歩も草むらもあり空気もきれい
山にかこまれた地域だけど、意外と便利な地域で住みやすいです



なんですか？
高齢化が進むと町自身に活気がなくなり衰退するだけだと思う
現在の町民も新しく住む人に対して、考え方を変えていく必要がある
また、新しく住む人もお互いに理解し合う事が必要です
その中でコミュニティの場を作つて行く事が大事だと思う！
ご近所づきあいが長い、自然環境が良い
町の規模が小さい
ド・マール食堂、花見大会、ちゃんこ試食会等福祉員会の活動でコミュニティが活発
自然豊かで農道での散歩・ウォーキング等危険が少ない
四季折々、季節の移り変わりを楽しむことが出来る
各種行事に多くのお年寄りが参加してくれる
気軽に声をかけてくれるから
大人から子どもまで
生活環境がいいから
山間部（田舎）の盆地という地形的なこともあります、町会加入率が100%
いつもお世話して下さる方々に感謝しています
環境的にいい所だと思います。散歩道もいいし、空気もいいし
ほどよい田舎感がある
交通量が少なく景色がよい
移住者が徐々に増えている（居住しやすい環境にある）
個人宅や道端でゆっくり話しができる
皆が集まる場所（町会館でのドマール食堂）
運転する人は少し車で走ればスーパー、病院、学校、駅も近いので助かっています
土丸にはお世話になる施設が2ヶ所もあるので、家の近くだと不安が減ると思う
お年寄りだけでなく、老若男女、および子どもたちまで気軽に集い、ゲームや将棋や囲碁、カラオケ等みんなで楽しむ場所となっています
町会、各種団体、隣組等の催しが盛んで、積極的に参加している
田舎の都会
静かだー

バスや車があれば、コンビニ、スーパー、病院へ行ける



今後やってみたいことや興味のあること

- 自然を生かしたほたるの住む町にしたい
- 子どもたちを連れた家族が来ることになり、住みたいと思う町にしていきたい
- そのためには行政との関係が必要であり、古民家以外に家を建てることのできない現状を変えていかなければならない
- 自然を守っていく中で相反するものがある中で協調がむつかしいと思っている
- カラオケの集まりを増やしたい
- 他にも集まる機会を作れればうれしい
- 町の課題を話す会
- ・高齢化により区割の再編
 - ・溝掃除、墓掃除、草刈等への参加の不平等
 - ・休耕田の活用、整備、村の特産品を作る
- 子育て世代の交流（顔が見える）（50歳以下の若い人）
- デジタル化の推進
- ・スマホ、パソコン教室
 - ・会議資料のデジタル化（USB配布）
- 子どもからお年寄りまで参加出来る催しを計画する
- ドマール食堂とか開放日にたくさんの人人が来てくれればいい
- お年寄りから学ぶ（野菜作りや、しめなわ作り、昔の遊びや行事等）交流を深める
- 昔の様に子ども達も一緒に地域が一体となり、川掃除をしてホタルが沢山観る事のできる地域にする
- 土丸に住んではいるが土丸の住民をよく知らない人が多い→土丸スタンブラーで名前と住んでいる家を知る（やごうでやってもいいかも…）
- 家庭菜園を楽しむこと
- 福祉委員会が中心となって定期的にドマール食堂やカラオケ等と実施していただき感謝しています
- 難しいと思いますが、老若男女が集える「盆踊り」の復活とか？
- 昔は地域の盆踊りがありましたが、それもなくなり地域の皆が集まる機会が少なくなりました
- 盆踊りとなると準備等も大変なのでタ涼み会的なことが出来ればいいなと思います。協力はさせてもらいます
- ドマール食堂の発展のためにも、もっともっとお手伝いしていただける人を増やし、いろいろメニューを考えたり、時間をずらしていっしょにできるようなイベントを考えて土丸町内の人々の交流をはかっていき、これからもたくさんの人々が参加していただけるようがんばっていきたいと思います

樺井川バーベキュー等の交流会

災害の時の炊き出し訓練や、会館のそばに「かまどベンチ」など置いて炊き出しなどやってみたい

防災について、避難訓練など

- ・災害時の心がけなど学べたらいいなと思います
- ・防災ベンチなどを使ってみたい

長坂地区 地域の暮らしを話す会

日 時：アンケート形式

参加人数：50名（新泉ヶ丘5名、泉ヶ丘6名、下瓦屋南町0名、鶴原北住宅1名、貝田町5名、新家町14名、鶴原東町14名、見出住宅5名）

テーク：「他の地域に質問してみよう」

新泉ヶ丘支部

個別支援活動(見守り訪問)についての質問（対応として回答あり）

夜にネット対象者から体調が悪いと電話があったとき、どんな対応をしていますか？

- 今までにそういう事例はありませんでした。
- 当初はご近所の付き添いの方を車で迎えに行くという形をとりましたが、ネット対象者ではなかったので、話し合いをし、自治会自体で連絡を取ったとしても夜20時以降は動かない事としました。
- 顧問の方が行ってくださっています。
- 自治会長の時は連絡が来ましたが、今は事後報告です。
- まず症状を聞いて、救急車の手配をして、救急の人に症状を伝えます。
- 住民の方から色々と電話があります。電話があって、身体の体調が悪い方であれば訪問して、身内の方に連絡もしくは、本人の担当をしている訪問看護の方に連絡して、救急車を呼ぶこともあります。

グループ支援活動(サロン、カフェなど)についての質問（対応として回答あり）

サロン参加者を増やすためにしている工夫はありますか？

- マイク放送（前日の金曜日、当日の朝）や声掛けを行っています。
- カフェのメニューの工夫。
- 支部長を中心にメニューを工夫して、なるべく毎月かぶらない努力やご近所への声掛けなどを行っています。
- 参加者の方に、ご近居の方を誘ってくださいとお願いする事もあります。
- モーニングカフェに来てくれている方にも、感想や食べたい物などを聞くことがあります。（カフェの参加者は30～35人）

その他の質問（対応として回答あり）

担い手を確保するためにしている工夫はありますか？

- 新役員の中から毎年福祉委員を選んでいます。
- 4月～5月の間にご協力いただける所に、福祉委員や協力員にスケジュール表に明記してもらいました。
- 役員の方に積極的にお手伝いをしていただけるか、空いている時間を合わせられるかを自問しているところです。

泉ヶ丘支部

個別支援活動(見守り訪問)についての質問

- ・緊急時一人で対応出来ない場合、他の協力員、民生委員との連携はどのようにしているか。
- ・在宅しているが、返答なく鍵が施錠され家に入れない場合の対応は
- ・地震等の災害時に市から指定された避難場所は遠くかつ現居住地より危険が増す場合の対応は（当然現居住地に止まるべき）
- ・対象者が認知症になった場合、どのような症状まで町内が対応し以降は社協や親族に相談、依頼する目安があれば・・・
- ・ネット対象者の方で、日頃話し合い手がない方のところに訪問すると、話をやりたくていつまでも話をする方に対して、どのように対応するのが良いですか。
- ・親戚や子供等が近くに住んでいなくて、相談相手がない人の対応と足腰がおとろえて歩行困難な人についてどの様に対応したらいいですか。

グループ支援活動(サロン、カフェなど)についての質問

- ・広報手段が主であるが、徹底した広報になりにくい。何よりも手紙等の手渡しによって、その時の状況から対象者とも顔が合わせられるし、出欠の有無も的確に把握出来るし、出席できない理由があればそれを取り除くべく工夫もでき、それが増加につながると考えるが、なかなかむつかしい。どのように徹底した連絡をしているか？
- ・出来るだけ話をするように心がけています。
- ・かつて近郊へのバスツアーを実施していたが、市のマイクロバス使用が出来ない今どのようにしているか。
- ・足が悪く遠出できない人の対応は
- ・当町内会では、「一杯のコーヒー」を開催していますが、その問題点は、場所が狭くて35名以上になると入れない、即ち、町内放送でPRしたら多数集まると収容できないので困っています。PR放送と運営方法で良い方法があれば教えてほしい。

その他の質問

- ・具体的に制度・ルール 何もないがルールはあってもいいと思う。
- ・福祉委員、協力員が何をしているかもっと外部の人たちが知る機会をつくるとか、オープンにする手立てがいると思う。
- ・意識的観察をしています。
- ・協力員も高齢化しているが、担い手をどのように確保しているか。
- ・ボランティアは高齢化し、民生委員同様人員確保はむつかしくなりつつある、良い案は
- ・ボランティア活動の中で、どこまで接近して対応すべきか、その方法について

て参考になる方法を教えてほしい。

- ・老老介護についてどの程度まで、ボランティア活動ができるのか？

鶴原北住宅支部

グループ支援活動(サロン、カフェなど)についての質問

- ・R5度より活動再開しましたが参加者少なかったです。他支部ではどのような活動してますか。

貝田町支部

個別支援活動(見守り訪問)についての質問

- ・対象者から連絡が直接入ってくることは現在までありませんが、もし入ってきたら先ずはご家族に連絡していただき、救急車を呼ぶなど支部長さんと連絡を取り対応できる範囲でお手伝いをできたらと思いますが、他の福祉委員会ではこのような場合の対応方法は決まっていますか？
- ・いつ訪問しても「変わりはないです」で会話が終わってしまう対象者がおられますか、どのように会話を膨らまそうか？と色々試みていますが何か良い方法はありますか？

グループ支援活動(サロン、カフェなど)についての質問

- ・活動の支援をされている方の年齢は？仕事の有無は？どんな感じでしょうか？
我々の支部の協力員は50代後半～60代で仕事をされている方がほとんどで、平日は活動ができず、土日も家のことが主で支援活動はできない現状です。

その他の質問

- ・協力員はほぼ全員20年以上の経験のある方で、これはこれで有難いですが新しい協力員の勧誘、世代交代はどうされていますか？

新家町支部

個別支援活動(見守り訪問)についての質問

- ・見守り訪問で対象者が不在の時はどのようにしていますか。
私は民生委員の活動として定期的に訪問しています。対象者が50人と多いため時々のトピックス（インフルエンザ注意など）を取り上げた「民生委員だより」を作成し、在宅の人には手渡し、不在の方には郵便受へ投函しています。しかし、不在の方への電話等でのフォローはできません。

グループ支援活動(サロン、カフェなど)についての質問

- ・昨年の夏休み（土曜日）に小学生向けに「工作教室」を開きました。しかし思ったように参加者が集まりませんでした。原因是学習塾や習い事、学童保育に行っており、さらに協力をお願いできる「子ども会」などの組織がないなど考えられます。何かいい知恵、成功事例をお願いします。

その他の質問

- ・担い手自身が高齢化し、対象者が若くて元気そうな方もおられます。訪問すると、みなさんから「気をつけてね」と心配されることもあります。対象者の方は外見では分からぬ問題や事情を抱えていると思います。しかし、見守り対象とする基準の見直しなどが必要と考えます。

鶴原東支部

個別支援活動(見守り訪問)についての質問

- ・見守り訪問はどれくらいの頻度でしていますか？
- ・何度訪問しても会えない場合はどのように対応していますか。

グループ支援活動(サロン、カフェなど)についての質問

- ・サロンに参加していただくためにどのような声掛けをしていますか？

見出住宅支部

個別支援活動(見守り訪問)についての質問

- ・1度訪問して会えなかった方にはどのような対応をなさっていますか？

グループ支援活動(サロン、カフェなど)についての質問

- ・卓球、吹き矢、カラオケには参加者がいますが、お話しがしたい人が参加できるカフェを開きたいので、カフェをするノウハウを教えてほしい。
- ・吹き矢、カラオケ、卓球サロンには参加出来ないが、お茶でもしながらおしゃべりしたい方がおられるのでその方達の集まる場所をもうけたい。カフェなどを開いておられる支部の方に色々とノウハウをおそわりたい。

日根野地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和6年1月20日（土） 18時30分～20時30分

場 所：日根野公民館

参加人数：20名（町会長10名、長生会長10名）

（東上、久ノ木、中筋、西出、野口、西上、新道出、野々地蔵、俵屋、
ふあみーゆ日根野）

テ－マ：「今後の地縁活動について考える」

全支部

町会長、長生会長の意見

- ・地域社会のあるべき姿、災害や福祉の問題を明確にしたらよいと思う
- ・地域の人との関りをどう持つべきかの方向性をひとつにする必要があると思う
- ・町内会活動の意義や必要性を町会連合会が先頭に立って次世代につなげていくことが重要
- ・長生会は町会の下部組織、諸々の大きな流れは町会連合会が先頭に立って動いてほしい
- ・福祉団体、町会連合会、長生会の目的は何なのか原点に戻り各団体の本当にやらなければならないことを明確にする
- ・一人ひとりは弱くてもまとまる力になるので、人を束ねていく力が求められる
- ・会合の必要性は無視できないが、役員の負担を減らす方法が求められている
- ・会合は通知や報告が多く、本当の話し合いであるディスカッションができる
- ・任期が2年間なので、ああしろこうしろと言われてもどうしようもない
- ・消防団と町会が連携しながら町会連合会を動かしてもらえばいいと思う
- ・防災について何の取り決めもないので消防団と相談していく
- ・地震の際、市役所や消防署の人が来るように時間がかかる
- ・今、実際に救助等を分かっているのは消防団の人しかいないという認識
- ・日根野も核家族化が進んでいき子育てサロンが出来たのだと思う
- ・先輩ボランティアにいろんな悩みごとを相談するということを充実させていけばよいのかなと思う
- ・日根野地区においても高齢化が進みカフェを開催している町もあれば開催していない町もある
- ・カフェを世代間交流という名目で開催しているところもあれば、高齢者ばかりのところもある
- ・いろんなやり方があるのでそういうことを勉強しながらやっていく
- ・町会長だからといって全ての活動の主になるのではなく、役割分担をしても

らえると少しは負担軽減になるのではないか

- ・日根野連合会で楽しく活動をやっているという雰囲気になれば町会に入りたいと思う人が増えるのではないか
- ・日根野地区の現状に合わせて地域の活性化を行っていく必要がある
- ・日根野が楽しく住みやすい町にするにはどうしたらよいか考える必要がある

地域の暮らしを話す会について

- ・主催者となる側がもう少し事前準備をして“今回はこういう問題を提示します”それについてみなさんの意見を求めますなど、先に回答を用意する。どんな答えが出るかを事前にディスカッションしておいて、ある程度話題を持って話を進めてほしい
- ・寄せられる回答内容や意見を予測したうえで議論や意見交換をしてほしい
- ・会議を持つ前にアンケート等で情報を得え、それを集約したうえで会議の場で話し合うことが必要
- ・単なる問題点を投げかけて意見を求めるだけだと以前と変わりがない
それで会議の回数が増えるのは避けてほしい

南中地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和6年3月5日（火） 19時30分～20時15分

場 所：南部市民交流センター 会議室1

参加人数：25名（安松5名、岡本7名、樋井東6名、樋井西7名）

テ－マ：「各町の防災の取り組みについて」

【前段の動き】

★泉佐野市危機管理課を招き、防災について研修会を実施する（別日）

後日、地域の暮らしを話す会に向けて各支部で話し合った内容を報告・共有する

安松支部

令和5年度の防災訓練の内容

防災訓練は年に1回実施し、直近では11月5日の大防災訓練に合わせて午前9時に開始した。

地震を想定して、身を低くして守るといった動線確認を各家庭で訓練。

その後、安否確認タオルを玄関先に出す。

そのタオルの確認を隣組の組長が確認し、タオルの提出状況を町会役員に報告する。

防災講演「日本防災士会による先進事例について」を視聴する。

今後の展望

参考にしながら、今後の安松町の自主防災組織体制を整えていきたい。

岡本支部

令和5年度の防災訓練の内容

概ね安松町と同様。（上記参照）

他にはより具体的な避難訓練を実施した。

独居高齢者のお宅に福祉委員会のボランティアが訪問し、一緒に避難する。

避難訓練をしたことでの実際の災害時では難しい行程を確認することができた。

中には会館まで行けない高齢者もいて、まずは高齢者と担当ボランティアとの顔の見える関係つくり

から進めていきたい。

日頃から訪問している高齢者とはスムーズに行えた。

樺井東支部

令和 4 年度の防災訓練の内容
若い世帯を対象に絞り、消防に放水車を出動して貰い、放水訓練や搬送訓練を実施した。
婦人会による炊き出し訓練も実施。その他は安松町と同じ。（前ページ参照）
かえって、課題になったのが高齢世帯の参加減少。対策として、毎月開催しているカフェで防災意識を高める工夫を実施している。
令和 5 年度の防災訓練の内容
アルファ化米を提供して、実際に食べてもらうことで高齢世帯の参加も増えた。
簡単な応急処置の実施をした。
40～50 歳代の町民に防災士資格所得を促した。4 名増加し、現在 6 名。

今後の展望

高齢者や小学生が互いに声かけできるように交流を促している。全世代で若い世代も活用したい。
新たに防災士を取得した者たちも巻き込んでいきたい。

樺井西支部

令和 5 年度の防災訓練の内容
11 月 5 日の大防災訓練の日に避難所の南部市民交流センターに集まり、避難所見学を兼ねて避難経路を確認しながら避難訓練を実施した。
避難訓練前には町内放送を確認、実施した。
1 階の大ホールで段ボールを活用して、パーソナルスペース（区切り板）の作成と実演。
各自、自宅から避難所までの経路を再確認してもらう。
防災食の配布。

中央地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和5年10月7日（土） 13時30分～14時30分

場 所：松風台集会所

参加人数：17名（市場町4名、葵町4名、幸町2名、松風台2名、中町3名、日根野西2名）

テー マ：「わたしのまちのいいところ♪」

市場町支部

ここがすきっ☆

- 町会、長生会、婦人会、子ども会、民生（委員及び協力員）、清掃員等の各団体の連絡がとれている。“ふれあい祭り”の開催
- 町内会の活動が役員中心に活発に行われている
- 町のまとまり、つながりがある
- 各個人それぞれが生きいきと活動して元気がある
- 何かするという時、みんな協力し合える
- 寄付集め等協力し合える



なんですか？

- 町のイベントに一丸となれるところが…
- “寄付金集め”も各団体役員総出で取り組んでいる
- 連帯感が自然と生まれる。長年の蓄積がある
- 町会主催のイベントの寄付活動に協力的
- 町でいろんなイベントを協働してやっている
- 各種団体及び町会のイベントも多く活発である

各支部の取り組みの共有（10月現在までの取り組みと今後の予定）

- ふれあい祭り
- ふれあい祭り
- 7/8 独居高齢者対象に生活支援物資
- 9/18 古希の祝い 29名の方におかし配布
- 10/22 ふれあいまつり



今後やってみたいことや興味のあること

- ラジオ体操
- 観劇
- バスに乗って研修旅行の様な活動をしたい

中町支部

ここがすきっ☆

お年寄りが元気です。足腰痛いけど元気に暮らしています
町内の方ときがるに話が出来楽しいです
長生会、土曜日 カラオケ
隣近所でお付き合い（ことばかけ等）がある
天災が少ない
子ども達が元気にあいさつできる
会館でカラオケ等楽しんでいる（高齢者）
海があり山がありそしてまだまだ自然もあるせいか、やはりお年寄りが大変元気であります
中町町会館で毎週土曜日に長生会さん達がカラオケを元気よく歌っています



なんですか？

中町会館で子育てサロンをしています
町内会の親睦会を開催
昔から住んでいる家庭が多いので、どんな方がどこに住んでいるか誰かに聞けばわかる
中町会館の場所があり、音響設備がある

各支部の取り組みの共有（10月現在までの取り組みと今後の予定）

10月現在まで 子育てサロン
〃 ひとり暮らし誕生日（商品券）渡し
〃 3月にひとり暮らしガーデニング開催
5年ぶり 親睦会 13:00まで開催、中町会館
10/29 中町ふれあい親睦会（5年ぶり）
3月頃 ガーデニング
子育てサークル
10月29日（日）中町ふれあい親睦会



今後やってみたいことや興味のあること

ラジオ体操
観劇
バスに乗って研修旅行の様な活動をしたい
福祉委員会でハンドベルを練習してクリスマス（子ども達）やひとり暮らしの方の前で楽しんでみたい（これからはじめるのですが…）
中町町会でのバーベキュー大会

葵町支部

ここがすきっ☆

隣近所の繋がりがある

子どもが増えてきた。新しい住宅が増えてくる

高齢者が元気

夏の盆踊りなど町会が活動に熱心



なんですか？

葵町公園で体操など（健康体操）をしている

どなたでも集まる所（公園）がある

幸町支部

ここがすきっ☆

仲の良いご近所さんで、町内や貝の池にお散歩に行かれる

カラオケ、卓球を楽しまれている



なんですか？

幸町会館を利用して、活動されている（長生会に入会されている方）

松風台支部

ここがすきっ☆

朝早くから家の前の道路の清掃や散水をしている方も多く、町が静かで清潔なところ

新池中学に面していますが、中学校のまわりも学校の方々がきれいにそうじされており雑草もみあたりません

当地区は（約400世帯）①「マンション」棟（80世帯）②松風台自治会地域、③松風台3丁目地区（約30世帯）が中央地区福祉委員会松風台支部のエリアです

松風台自治会地域は街として成熟し高齢化が著しいですが近隣のあいさつ、見守りができていて良い

他の2地域から推進委員が出ていないのが難点



なんですか？

住人の年齢層が高く、比較的時間に余裕のある方が多いのでせかせかしていない

隣同士の声かけが充実しているところが良い

各支部の取り組みの共有（10月現在までの取り組みと今後の予定）
松風台ガーデン 花の植え替えと毎日の水やり
敬老の日に 77歳以上の住民の方へ、お祝い（オーケワの商品券）配布
松風台祭りなど
10/29 親睦会「中町」が実施

日根野西支部

ここがすきっ☆
花が町内にある
お年寄りどうしが仲がいい
お年寄りが仲がよい
花がある



なんですき？
毎年敬老の日プレゼント
小さい町のよい所で家庭的な雰囲気

各支部の取り組みの共有（10月現在までの取り組みと今後の予定）
4月と12月花壇の花の入れ替え
8月、火の用心の見回り
11月町会入会者に弁当の配布
年4回子どもの見守り
毎月古紙回収
年1回粗大ゴミ回収（5月）
花植
ポカリスエットの配布
敬老の日プレゼント
プチトマト、ナスビ配布
夜警



今後やってみたいことや興味のあること
子どもが少ないので子ども会を復活させたい
気軽に挨拶のある町
大衆演劇

二小地区 地域の暮らしを話す会

日 時：令和5年10月27日（金） 19時00分～20時00分

場 所：高松町総合会館

参加人数：15名（高松町2名、高松東2名、高松北3名、高松南2名、
上町3名、大宮町1名、栄町2名）

テーク：「地元の魅力を振り返ろう！」

高松東・高松北支部

1. あなたの町の魅力やPRポイントは？

コンビニが2店あり便利。

比較的静か※騒音が無い。

高松北 駅が近い。

大都会でもない田舎でもなく、ちょうど良い町。

高松北 空港に近い。

高松北 犯罪が少ない（ない）

犯罪が無い。

閑空に近く便利。

シニアコーラス部がある。

車も比較的スムーズに走れて便利である。

南海電車の特急が止まって便利。

比較的安全、静か。

町が明るい。

高松北 隣組の協力が大きい。

通りや町がきれい。

2. 工夫していることや大切にしている思いは？

ゴミのない街。

家の周りはきれいにしている。

クリーン作戦を実施している。

一人暮らしの老人のクリスマス会、ふれあい交流会。

花通りをみんなで花づくりをしている。素晴らしいこと。

地域活動に積極的に参加していく。

3. 地元の魅力が継続・発展していくためには？

子ども達の見守り。

町会の役員、行事に若い人に参加を呼びかける。

町会で魅力ある行事を企画する。

有力議員を出したい。

市と町会が今後も協力していく。

閑空に伴い色々な施設ができ、使っていきたい。

あまり都会にならないようにしていく。

町会員の参加出来るクラブや同好会を増やす。

困り事は共有して町会で話し合い解決していく。

女性を町内会に入れていく。

高松町・高松南支部

1. あなたの町の魅力やPRポイントは？

健康体操として太極拳を毎週水曜日に開催。

第2、4（土）PM2：30～4：30 第1,3（日）10：00～12：00まで
PC会を行って、地域の方と交流を深めている。

カラオケ。

夏休み期間中、老若男女問わずラジオ体操（AM7：30～7：45）を参加する
ためにジュース缶を渡している。

高松町会で貸農園を運営。希望者に低額で借りてもらって季節の野菜を栽培
してもらっている。

B B Q大会。

末広公園で散歩。

交通の利便性。

道が平坦で移動しやすい。

車なしでも自転車で移動できる。

高齢者への声掛けをして暮らしやすい。

買い物に行きやすい。

大型店舗が多い。くら寿司・青木 松風庵・一步・ロイヤルホスト・コンビニ。

2. 工夫していることや大切にしている思いは？

クリーン作戦で町がきれい。

一人暮らしの老人にプレゼントを配布。民生委員さんが積極的に声をかけて
いる。

カラス対策としてゴミネットの配布を町会として取り組む。

地域の方と小学生が交流する。

3. 地元の魅力が継続・発展していくためには？

役員・会員ともに増やす。

元気な高齢者を増やす。

あいさつをする。（コミュニケーション）

老人と青年が交流出来る場を作る。
町会の歴史を知る機会を増やす工夫をする。
総合体育館で地震対策としての取り組みをアピールする。
イベントを上手にPR。(先着順など)
楽しいイベントをする。
町会対抗運動会を実施。

大宮町・栄町支部

1. あなたの町の魅力やPRポイントは?

買い物が便利。
泉佐野駅に近い。
もとからの住民の割合が多い。
銀行が多い。
二小校区。
静か。
町内の住民が顔見知りで仲が良い。
飲食店が多い。
日常の買い物が便利。
スーパーが多い。
病院が多い。
人数が少ないので一人一人の名をお互いに知っている。

2. 工夫していることや大切にしている思いは?

子育てサロンを毎月2回実施。
一人暮らしの方には声かけするようにしている。
町会員と親しくなごやかに接している。
よその家の子供にも声をかけるようにしている。
毎月1回元気塾開催。
高齢の方々への声かけ。
世代間交流活動を年3回実施。
町内活動が活発。
町会費が安い。
さのぽが使える店がある。
美化清掃活動。
街づくり研究会建て方ルール。

3. 地元の魅力が継続・発展していくためには?

次世代の住民が住むようにならないと…

賃貸住宅は望まない。
街区整備（住環境・道路面など）
若い世代も町会活動に参加してもらうような方法を考える。
若い人が住んでくれるような町づくり。

上町支部

1. あなたの町の魅力やPRポイントは？

スーパー、コンビニ等多く買い物に便利。
駅近くで交通の便が良い。高齢者にとってもいいのでは。
銀行等も多く引き出したりしやすい。
町会費がきっと泉佐野一安い。
きっと津波などの影響もないと思っているので…
小学校が近く、選択可能が良い。
生活するのに便利。
買い物が出来る商店、スーパーが多く便利。
駅が近く便利。
静かな町。
市の中心である。
人口が集中している。
病院・医院等が近くに多く、高齢者は助かる。
人の通行等が多いため、子供の通学時の見守りがある。

2. 工夫していることや大切にしている思いは？

元気なお年寄りが多いので日常的によく会い常に話が出来ている。
近隣の清掃はきちんとする。
隣近所は遠くならず、あまり近くならずの関係を大切に。
一人暮らし高齢者により交流会 年2回実施。
町会として分譲住宅・マンション等の建築時に隣組への加入を推進している。
防犯灯の設置を推進している。

3. 地元の魅力が継続・発展していくためには？

公共施設が山の上にあるので福祉に問題がある。ちょっと行けない。
地域活動に参加する人の増員必要。

作成者：社会福祉法人 泉佐野市社会福祉協議会
作成日：令和6年8月

この冊子は、《泉佐野市安心生活創造推進事業》に基づく補助金によって作成しました。

